

平成21年10月22日

各 位

会 社 名 株式会社 池田泉州ホールディングス
 代表者名 取締役社長兼CEO 服 部 盛 隆
 (コード番号 8 7 1 4 東証・大証第1部)
 問合せ先 企画部 統括部長 田 原 彰
 (TEL 0 6 - 4 8 0 2 - 0 0 1 3)

当社子会社の業績見込みについて

当社子会社の株式会社池田銀行（本店：大阪府池田市、取締役頭取 服部 盛隆）の平成22年3月期第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の業績見込みについて下記のとおりお知らせします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間の業績見込み（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

<単体ベース>

(単位：億円)

	21年9月期 見込み	20年9月期 実績	増 減	(参考 5月公表) 21年9月期
業務純益	71	18	+53	60
株式関係損益	19	20	△1	
うち減損処理(△)	0	15	△15	
不良債権処理損失(△)	23	19	+4	
経常利益	58	△14	+72	45
中間純利益	64	△15	+79	45

平成21年9月期の業務純益は、有価証券運用収益が好調に推移したほか、経費の削減にも取り組んだ結果、業務純益は前年9月期に比べ53億円増加して71億円となる見込みであります。

また、不良債権処理23億円を実施した結果、経常利益は58億円、中間純利益は64億円となる見通しです。

※当社（池田泉州ホールディングス）の平成22年3月期業績予想につきましては、11月の決算発表時に公表する予定です。

(ご参考)

<単体ベース>

(単位：億円)

	21年9月期見込み	20年9月期	増 減
預金残高	23,165	22,418	+747
うち個人預金	18,717	18,381	+336
貸出金残高	16,622	16,187	+435
うち住宅ローン	4,961	4,734	+227
うち事業性貸出	11,504	11,282	+222
自己資本比率	10%程度	9.32%	
有価証券含み損益	△17	△159	+142
不良債権残高	422	411	+11
不良債権比率	2.5%	2.5%	0.0%

以 上

BANK OF IKEDA

池田銀行
平成21年度 中間期の業績見込みについて



池田泉州ホールディングス

S I H D



池田銀行

Ikeda Bank

ごあいさつ

いつも池田銀行をご利用いただきまして有難うございます。
このたび、池田銀行の平成21年度中間期の業績見込みについてお知らせします。

ポイントは以下のとおりです。

- ①諸施策に取り組んだ結果、業務純益は71億円(上期60億円の計画)、
また、中間純利益は64億円(上期45億円の計画)となり、
当初の計画を上回り、順調に推移しております。
- ②預金は個人預金・法人預金ともに順調に推移し、
年間747億円(年率3.3%)増加しました。
また、貸出金は事業性貸出・住宅ローンともに順調に推移し、
年間435億円(年率2.7%)増加しました。
- ③健全性の指標である自己資本比率は、
国内基準を十分上回る10%程度となる見込みです。

すでにご案内のとおり、
池田銀行と泉州銀行は共同持株会社「株式会社池田泉州ホールディングス」を設立し、
経営統合いたしました。

両行は関西地域における代表的な独立系の金融グループとして、
「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、
「地域の皆様からのご支持No.1」のご評価をいただけるように、
更なる飛躍と企業価値の向上に努めてまいります。

現在、両行は統合効果の最大化に向けて、
来年5月を目処に合併することで鋭意準備を進めております。

引き続きご愛顧とご支援を賜りますよう、
何卒よろしくお願い申し上げます。

平成21年10月

池田銀行取締役頭取

服部 盛隆



池田泉州ホールディングス



池田銀行

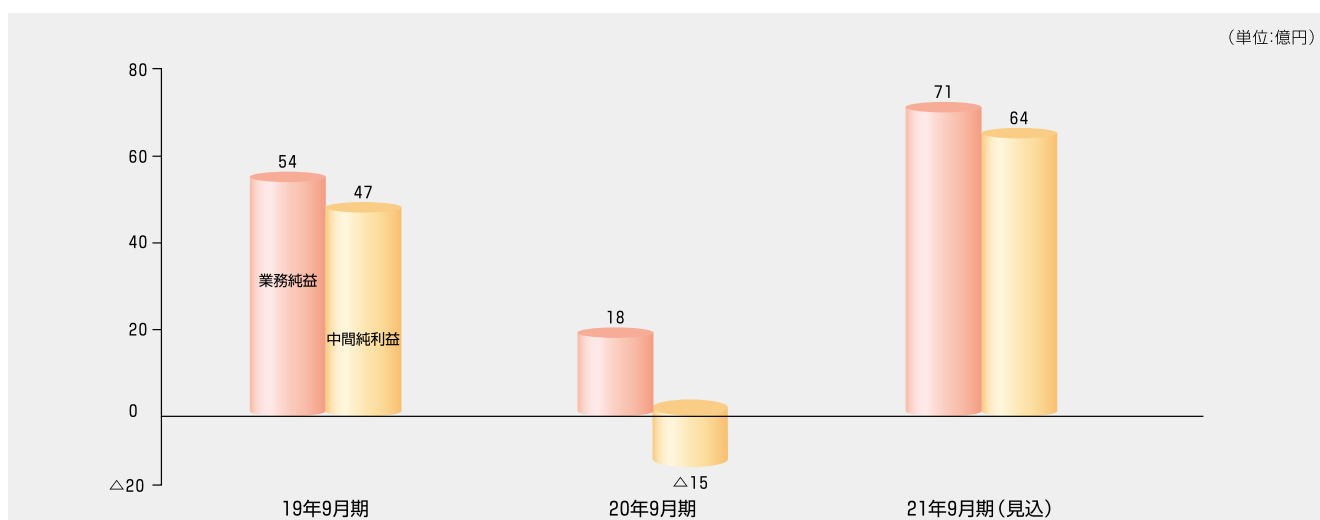
Ikeda Bank

平成21年度 中間期の業績見込みについて

- 業務純益は71億円、中間純利益は64億円となる見込みです。
- 健全性の指標である自己資本比率は、10%程度と国内基準を十分上回る見込みです。
- 預金は、個人預金・法人預金ともに順調に推移し、年間747億円増加しました。
- 貸出金は、事業性貸出・住宅ローンともに順調に推移し、年間435億円増加しました。
- 不良債権比率は、2.5%の見込です。
- 有価証券の含み損は、17億円に減少しました。

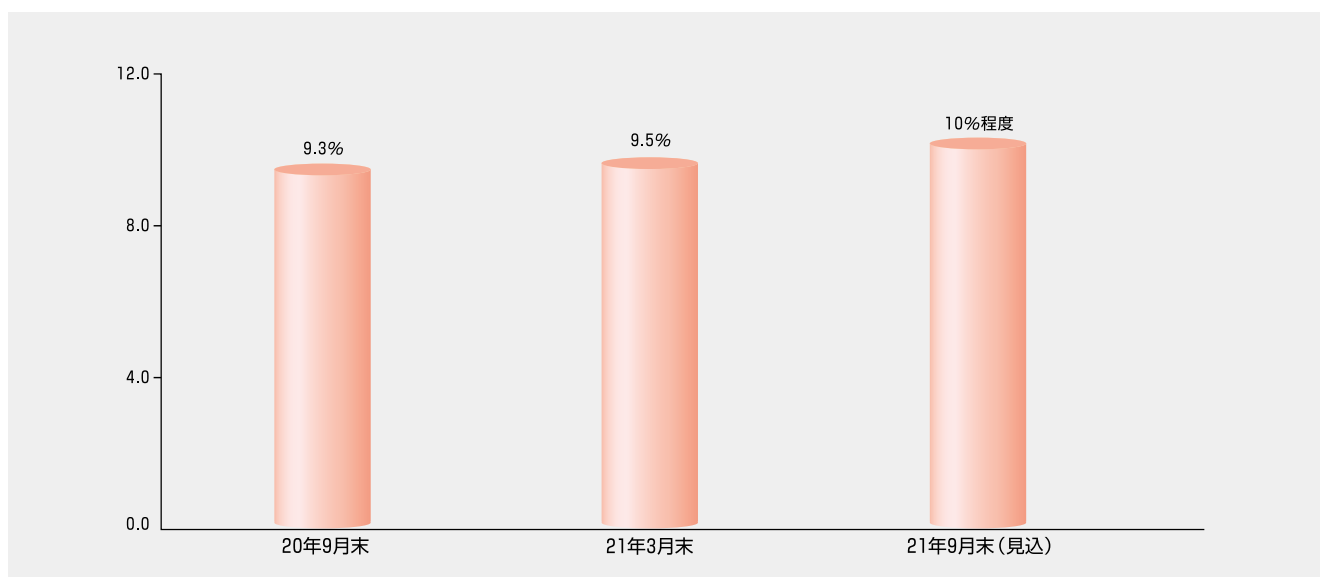
◆ 業務純益・中間純利益 (平成21年9月期)

業務純益は、有価証券運用が好調であったことから、71億円(計画60億円)となり、中間純利益は64億円(計画45億円)となる見込みです。



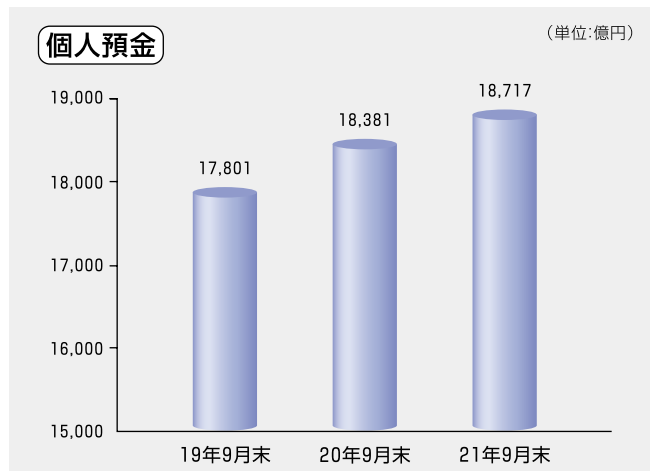
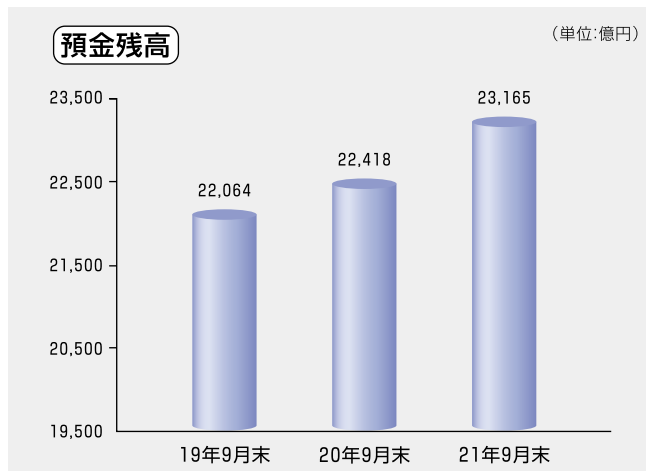
◆ 自己資本比率〈国内基準・単体〉

自己資本比率は国内基準を十分上回り、10%程度の見込みです。



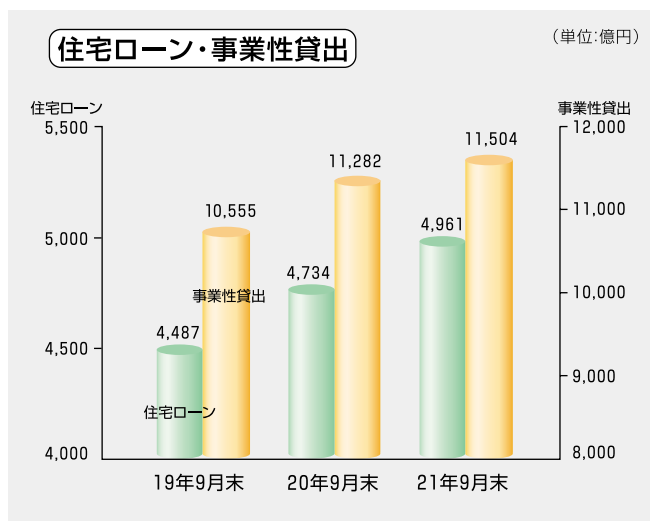
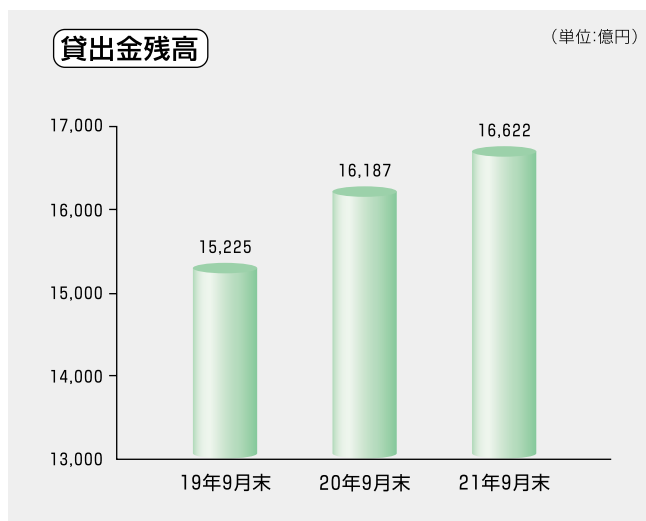
◆預金の動向

預金は好調に推移し、年間747億円増加しました。



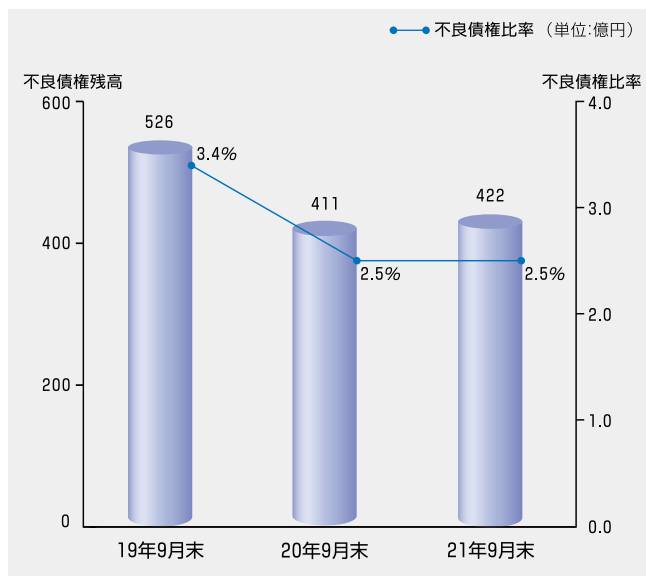
◆貸出金の動向

貸出金は好調に推移し、年間435億円増加しました。



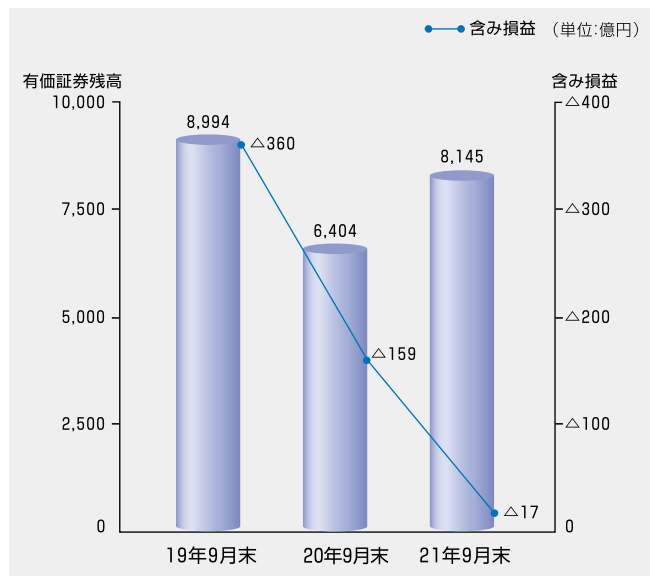
◆不良債権の状況

不良債権比率は、2.5%の見込みです。



◆有価証券の状況

有価証券の含み損は、17億円となりました。



本資料にある平成21年9月期決算(見込)は、各種の要因により、変動する可能性があります。

池田銀行と泉州銀行の経営統合スタート 「池田泉州ホールディングス」誕生

平成21年10月1日、池田銀行と泉州銀行は、共同持株会社「池田泉州ホールディングス」を設立し経営統合、同日、東証・大証第一部に上場いたしました。新金融グループは、預金4兆2千億円、貸出金3兆3千億円、店舗数140カ店、店舗外ATM178カ所の規模でスタートしました。

「地域のため、地域の皆様のお役に立つこと」を目指し、『地域の皆様からのご支持No.1』のご評価をいただける金融グループとして、地域の活性化に努めてまいります。

なお、統合効果の最大化に向けて、来年5月を目処に両行が合併することで鋭意準備を進めております。



第10回ビジネスマッチングフェア開催! ニュービジネス助成金“地域起こし大賞”なども発表!!

平成21年10月15日、16日の両日、「マイドームおおさか」において、「第10回く池田銀行」TOYROビジネスマッチングフェア2009を開催しました。今回のメインテーマは、「関西の元気、日本の元気」。これを象徴するものとして、近畿経済産業局による“関西メガ・リージョン活性化構想”カフェが特別展示されました。また、「平成21年度く池銀」ニュービジネス助成金の発表・授賞式も行いました。今回応募の132プランのなかから“地域起こし大賞”1件、“優秀賞”3件、“奨励賞”8件を選出し、それぞれ助成金を贈呈させていただきました。

これで、平成15年の本制度創設以来の応募件数は、1,010件、助成金の累計は、7,300万円となりました。

蘇州駐在員事務所開設3周年記念 「中国・蘇州 経済ミッション」

池田銀行蘇州駐在員事務所の開設3周年を記念して、お取引先企業の経営者の方々による「蘇州経済ミッション」が、9月5日から4日間の日程で蘇州市を視察しました。今回は、経済交流だけでなく、蘇州大学を訪問するなど、文化交流の面でもお役に立つことができました。9月8日の3周年式典では、「記念講演会」に引き続き「懇親会」を開催、地元政府関係者や現地日系企業の方々など大勢の皆様にご参加いただきました。

今後も、中国との“強い絆”のもと、日中両国の『架け橋』として、より一層お役に立ってまいります。



神戸大学と「産学連携基本協定」を締結

池田銀行では、地域社会の発展に貢献することを目的に、地元大学とのネットワーク構築を積極的に進めています。

平成21年8月6日には、神戸大学と「産学連携基本協定」を締結しました。神戸大学の研究分野を活かした企業との共同研究や技術マッチング等を推進するとともに、連携専用の投資ファンド等を活用し、神戸大学発のベンチャー企業等に対して投融資を実施してまいります。池田銀行との連携大学は、関西学院大学、甲南大学、同志社大学、大阪府立大学、大阪市立大学と合わせ6大学となりました。これからも、こうした産学連携ネットワークを活用して、「地域起こし」活動を積極的に進めてまいります。